

長野工業高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	スポーツⅡ				
科目基礎情報								
科目番号	0078	科目区分	一般 / 必修					
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1					
開設学科	一般科	対象学年	5					
開設期	前期	週時間数	前期:2					
教科書/教材	参考書: 最新スポーツルール指定の運動着、Tシャツ、ポロシャツ、専用シーツ(体育館、テニス)。							
担当教員	篠原 克修、松久 和弘							
到達目標								
事前の準備やウォーミングアップ、事後の片付けやクーリングダウンを積極的に行い、運動に適した服装や態度の重要性を理解した上で、各授業項目(各種目)について、自主的かつ意欲的に活動に取り組める。これらの内容を満足することで、学習・教育目標の(A-2)の達成とする。								
ループリック								
意欲・関心	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
技能	準備・活動の場面において、自己および仲間のとるべき行動を判断し、適切に働きかけながら、主体的に活動できる。	準備・活動の場面において、自己のとるべき行動を判断し、仲間と協力しながら活動できる。	準備・活動の場面において、自己のとるべき行動を判断できない。仲間との協力や活動への自主的な参加ができない。					
思考・判断	自己の能力を理解し、適切な運動技能、運動強度を判断し、応用的技能の習得や体力向上をはかることができる。	教員が指示した運動課題に従い、運動の基本技術や体力を身につけることができる。	教員の指示に従わず、運動の基本技術や体力を身につけることができない。					
自己や周囲の安全に留意しながら活動し、必要に応じて危険を回避する行動や、周囲への声かけができる。	自己の安全に留意しながら活動し、必要に応じて危険を回避する行動を取ることができる。	自己の安全に留意しながら活動し、必要に応じて危険を回避する行動を取ることができない。						
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	各種運動の合理的実践を通して、運動の楽しさや喜びを体得し、生涯にわたりスポーツを実践できる能力、各種技能及び体力の向上を図る。また、心身の健康のために、生活の中に積極的に運動を取り入れる。							
授業の進め方・方法	授業方法は、実技が中心となるが、学習教育目標(A-2)を評価するためのレポート課題を課す。							
注意点	<p><成績評価>上記(到達目標)に従い、100点満点で(A-2)を評価し、合計の6割以上獲得した者をこの科目的合格者とする。</p> <p><オフィスアワー>毎週火曜日16:00~17:00、グラウンド、児玉:第1体育館、篠原(非常勤講師):授業の前後に聞いて下さい。緊急の場合は体育教員が対応します。</p> <p><先修科目・後修科目>先修科目:スポーツI</p> <p><備考>やむを得ない理由により欠課時数が3時間を超えてしまった場合には、申し出により補習を行うことがあるが、その場合でも欠課時数の合計が、総授業時数の1/5以内を目安とする。</p>							
授業の属性・履修上の区分								
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画								
	週	授業内容	週ごとの到達目標					
前期	1週	体操①	・身体的緊張をほぐす各種体操を意欲的に行える。 ・ストレッチ、補強運動等の具体的方法の理解と実践ができる。					
	2週	スポーツテスト①	・文部科学省スポーツテストを行う。 ・運動能力、体力の実態把握と課題設定。					
	3週	スポーツテスト②	〃					
	4週	種目選択I(テニス・サッカー・ソフトボール)①	<テニス>ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなど、Wゲームの把握。 <サッカー>各種キック、トラッピング、ヘディング、ポジションに応じた戦術の理解など。 <ソフトボール>バッティング、守備、ルールの理解など。					
	5週	種目選択I(テニス・サッカー・ソフトボール)②	〃					
	6週	種目選択I(テニス・サッカー・ソフトボール)③	〃					
	7週	種目選択I(テニス・サッカー・ソフトボール)④	〃					
	8週	種目選択I(テニス・サッカー・ソフトボール)⑤	〃					
2ndQ	9週	種目選択I(テニス・サッカー・ソフトボール)⑥	〃					
	10週	種目選択III(バレーボール・卓球・バドミントン・バスケットボール・トレーニングなど)①	<球技系種目>発展的技能・戦術の習得。 <トレーニング>各種トレーニングの理解と実践、ウエイトトレーニング、自転車を利用したトレーニングなど。					
	11週	種目選択III(バレーボール・卓球・バドミントン・バスケットボール・トレーニングなど)②	〃					
	12週	種目選択III(バレーボール・卓球・バドミントン・バスケットボール・トレーニングなど)③	〃					
	13週	種目選択III(バレーボール・卓球・バドミントン・バスケットボール・トレーニングなど)④	〃					
	14週	種目選択III(バレーボール・卓球・バドミントン・バスケットボール・トレーニングなど)⑤	〃					

		15週	種目選択III(バレー・ボール・卓球・バドミントン・バ スケットボール・トレーニングなど)⑥	"	
		16週			

評価割合

	試験	技能	平常点	レポート	その他	合計
総合評価割合	0	50	40	10	0	100
配点	0	50	40	10	0	100